

貸借対照表

平成 28 年 9 月 20 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 160,766,612】	【流動負債】	【 758,608,087】
現金及び預金	158,214,621	短期借入金	750,000,000
前払費用	793,930	未払金	1,653,377
未収消費税	707,495	未払費用	2,052,423
未収収益	1,050,566	預り金	446,147
【固定資産】	【 1,822,786,600】	未払法人税等	1,052,200
(有形固定資産)	(1,822,776,600)	賞与引当金	3,403,940
建設仮勘定	1,822,776,600	【固定負債】	【 750,000,000】
(投資その他の資産)	(10,000)	長期借入金	750,000,000
差入保証金	10,000		
		負債の部合計	1,508,608,087
		純資産の部	
		【株主資本】	【 474,945,125】
		(資本金)	(250,000,000)
		資本金	250,000,000
		(資本剰余金)	(250,000,000)
		資本準備金	250,000,000
		(利益剰余金)	(Δ25,054,875)
		繰越利益剰余金	Δ25,054,875
		純資産の部合計	474,945,125
資産の部合計	1,983,553,212	負債及び純資産の部合計	1,983,553,212

個 別 注 記 表

自 平成 28 年 1 月 4 日
至 平成 28 年 9 月 20 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

2. 収益及び費用の計上基準

収益は実現主義、費用は発生主義により計上しています。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。